

4. 業務の遂行等について

(1) 以下の場合、通常どのような取り扱いをしていますか。

① 裁量労働制適用者にも出勤・退勤時刻を適用するとの定めがありますか。

「1」「2」の場合に遅刻するとどのような対応になりますか。

専	企	
1	1	一律の出退勤時刻がある
2	2	決められた時間帯にいれば出退勤時刻は自由
3	3	出退勤の時刻は自由だが出勤の必要あり
4	4	出勤するかしないかも自由

専	企	
1	1	賃金をカットする
2	2	勤務評定に反映する
3	3	注意をする
4	4	その他()

(2) 管理監督者は裁量労働制適用者に対して仕事の指示をどのように行っていますか。

1～4のいずれかに○をお付け下さい。(わかる範囲で)

専	企	
1	1	指示はしない
2	2	業務の目的、目標や期限等基本事項を指示する
3	3	具体的な仕事の内容について指示をする
4	4	業務の遂行の手段、時間配分の決定等を含め具体的に指示をする
5	5	その他 具体的に()内にご記入下さい 専門業務型() 企画業務型()

(3) 裁量労働制適用者に命ずる仕事の期限の設定は、通常どのようにして決めていますか。

1～5のいずれかに○をお付け下さい。(わかる範囲で)

専	企	
1	1	労働者が期限をすべて自ら決定している
2	2	必ず労働者の意見を聴いて、管理監督者が期限を決めている
3	3	仕事の緊急度等に応じ管理監督者が決めるが、労働者からの意見を聴くように努めている
4	4	仕事の緊急度等に応じ管理監督者が決めている
5	5	管理監督者が労働者の意向にかかわらず期限を設定している

(4) 管理監督者は仕事の進捗状況をどのように把握していますか。1～4のいずれかに○をお付け下さい。(わかる範囲で)

専	企	
1	1	定期的に報告させている
2	2	仕事の期限の一定期日前に報告させている
3	3	不定期(仕事の追加がある時など)に把握している

期間について該当するものに○をお付け下さい。

専	企	
1	1	1日ごと
2	2	週ごと

4	4	その他()
---	---	--------

3	3	月ごと
4	4	四半期ごと
5	5	半年ごと
6	6	1年ごと

5. みなし労働時間等について

- (1) みなし労働時間（1日）及び裁量労働制適用者平均の平成17年3月の実労働時間（1日平均）をご記入下さい。対象業務ごとによってみなし時間が複数ある場合には3項の質問1(2)又は(3)の選択肢のうちから業務名を選択の上それぞれ時間をご記入下さい。

	業務	みなし時間	実労働時間
専		時間 分	時間 分
		時間 分	時間 分
		時間 分	時間 分
企		時間 分	時間 分
		時間 分	時間 分
		時間 分	時間 分

- (2) みなし時間は何をもとに決定しましたか。1～3のいずれかに○をお付け下さい。

(みなし労働時間が複数ある場合には最も適用対象者が多いみなし労働時間)

専	企	
1	1	所定労働時間
2	2	今までの実績から算出
3	3	その他 具体的に()内にご記入下さい 専門業務型() 企画業務型()

「2」を選択した場合、どのような実績を使用しましたか。1～5のいずれかに○をお付け下さい。

専	企	
1	1	裁量労働制適用労働者の平均労働時間
2	2	適用部門の平均労働時間
3	3	その他()

6. 労働時間等について

- (1) 平成17年3月の月間実労働時間は何時間ですか。（平均的な者と最長の者について記入して下さい）。※「平均的な者」とは、最も多くの労働者が属すると思われる月間実労働時間数の層に含まれる労働者をいうものとします。

	平均的な者	最長の者
専門業務型で働く労働者	時間	時間
企画業務型で働く労働者	時間	時間
管理監督者	時間	時間
上記以外の一般労働者	時間	時間

- (2) 労働時間の把握方法はどのようにしていますか。専門業務型、企画業務型、管理監督者、それ以外の労働時間制で働く労働者別に記入して下さい。

専	企	管理監督者	左記以外	
1	1	1	1	タイムカード・ICカード等 (自己申告を除く。)による
2	2	2	2	自己申告による
3	3	3	3	管理者による
4	4	4	4	あらかじめ一定時間数が 定められている。
5	5	5	5	把握していない
6	6	6	6	そ の 他
()	()	()	()	具体的に()内に ご記入下さい

7. 休日労働、深夜労働について

- (1) 平成17年3月の休日労働(注)の回数は何日ですか。(平均的な者、最多の者それぞれについて記入して下さい) (注) 休日労働とは、法定休日労働及び法定外休日労働の両方を含みます。事前に休日が振替えられた場合は含みません。また、「平均的な者」とは、最も多くの労働者が属すると思われる休日労働日数の層に含まれる労働者をいうものとします。

	平均的な者	最多の者
専門業務型で働く労働者	日	日
企画業務型で働く労働者	日	日
管理監督者	日	日
上記以外の労働時間制度で働く労働者	日	日

- (2) 平成17年3月の深夜労働は合計何時間ですか。(平均的な者、最長の者それぞれについて記入して下さい) ※「平均的な者」とは、最も多くの労働者が属すると思われる深夜労働時間数の層に含まれる労働者をいうものとします。

	平均的な者	最長の者
専門業務型で働く労働者	時間	時間
企画業務型で働く労働者	時間	時間
管理監督者	時間	時間
上記以外の労働時間制度で働く労働者	時間	時間

8. 年次有給休暇について

- (1) 平成16年度の年次有給休暇の付与日数は何日ですか。平均的な者についてお答え下さい。
※「平均的な者」とは、最も多くの労働者が属すると思われる年次有給休暇取得日数の層に含まれる労働者をいうものであること。

専門業務型で働く労働者	日
企画業務型で働く労働者	日
管理監督者	日
上記以外の労働時間制度で働く労働者	日

- (2) 平成16年度の年次有給休暇の取得日数は何日ですか。平均的な者、最多の者、最少の者のそれぞれを記入して下さい。※「平均的な者」とは、最も多くの労働者が属すると思われる年次有給休暇取得日数の層に含まれる労働者をいうものとします。

	平均的な者	最多の者	最少の者
専門業務型で働く労働者	日	日	日
企画業務型で働く労働者	日	日	日
管理監督者	日	日	日
上記以外の労働時間制度で働く労働者	日	日	日

- (3) 裁量労働制適用者のみに付与される特別休暇がありますか。

1	なし	→ 質問9へ
2	あり	→ 下記質問①へ

- ①それは有給の休暇ですか、無給の休暇ですか。

専	企	
1	1	有給の休暇
2	2	無給の休暇
3	3	有給と無給の組み合わせの休暇

- ②休暇はどのような周期で付与されますか。

専	企	
1	1	毎年
2	2	複数年ごと
3	3	不定期
4	4	その他()

- ③休暇は年間何日付与されますか。(最も多くの人が適用される日数)

(日)

- ④取得者割合(1日でも取得した者)はどのようになっていますか。

専	企	
1	1	対象者の大部分
2	2	対象者の半数程度
3	3	対象者の一部のみ
4	4	ほとんどない

- ⑤ 付与日数に対して取得日数はどうなっていますか。(最も多い取得パターン)

1～5のいずれかに○をお付け下さい。

専	企	
1	1	ほぼすべて取得されている
2	2	かなり取得されている
3	3	半分程度の日数が取得されている
4	4	あまり取得されていない

5	5	ほとんど取得されていない
---	---	--------------

9. 賃金について

(1) 賃金制度について

- ① 裁量労働制適用者に限った特別手当等がありましたら月単位か年単位かを()内から選択の上、数字をご記入下さい。

専門業務型 約 _____ 千円 / (月 ・ 年)

企画業務型 約 _____ 千円 / (月 ・ 年)

- ② 年俸制を採用している場合、その対象となる労働者すべてに○をお付け下さい。

1	専門業務型裁量労働制適用者
2	企画業務型裁量労働制適用者
3	管理監督者
4	上記1～3以外の一般労働者の全員
5	上記1～3以外の一般労働者の一部

- ③ 平成16年分の年収(年間給与総額)の最高額、最低額、平均額を専門業務型、企画業務型、管理監督者、それ以外の労働時間制の労働者のそれぞれについて記入して下さい。

(万円単位でご記入下さい)

専門業務型

最高額 _____ 万円 最低額 _____ 万円 平均額 _____ 万円

企画業務型

最高額 _____ 万円 最低額 _____ 万円 平均額 _____ 万円

管理監督者

最高額 _____ 万円 最低額 _____ 万円 平均額 _____ 万円

上記以外の労働者

最高額 _____ 万円 最低額 _____ 万円 平均額 _____ 万円

- (2) 専門業務型、企画業務型、管理監督者、それ以外の労働時間制の労働者のそれぞれについて適用している評価制度はどうなっていますか。該当するものすべてに○をお付け下さい。

専	企	管理監督者	左記以外	
1	1	1	1	能力の段階ごとの分析・診断を行う (能力考課)
2	2	2	2	業務目標の達成度をみる、成績考課 (達成度考課)
3	3	3	3	業務目標の高さと達成度の両面をみる (業績考課)
4	4	4	4	適性度を含め、多面的に人材を評価する アセスメント

5	5	5	5	労働者本人の能力開発、人事異動等に関する希望を会社に申告させる自己申告制
6	6	6	6	本人の仕事に対する自己の評価を明確に意識させるための自己評価制
()	()	()	()	その他 具体的に()内にご記入下さい

10. 健康・福祉確保措置について

(1)裁量労働制適用者やそれ以外の労働者に対する健康・福祉確保措置として実施することとなっているものすべてに○をお付け下さい。またそのうち、実際に実施したものに◎をお付け下さい。

専	企	左記以外	
1	1	1	休日・休暇を組み合わせた連続休暇制度の導入
2	2	2	定期的に特別な休暇を付与する
3	3	3	一定時間以上の勤務が行われた時に特別な休暇を付与する
4	4	4	休日労働が行われた時に特別な休暇を付与する
5	5	5	一定時間以上の勤務が行われた時に代償休日を付与する
6	6	6	休日労働が行われた時に代償休日を付与する
7	7	7	年次有給休暇の連続取得を含む取得促進措置を講じる
8	8	8	心とからだの健康相談窓口を設置する
9	9	9	定期健康診断以外に一定期間ごとの健康診断を実施する
10	10	10	一定時間数以上の勤務や休日労働が行われた時に健康診断を実施する
11	11	11	労働者の希望に応じ、臨時診断を実施する
12	12		勤務状況及び健康状態により裁量労働制が適用されない部署へ配置転換
13	13	13	産業医等による助言・指導又は保健指導を受けさせる
()	()	()	その他 具体的に()内にご記入下さい

(2) 直近の健康診断で異常があった労働者（有所見者）数(注)は何人ですか。

	人数
専門業務型で働く労働者	人
企画業務型で働く労働者	人
管理監督者	人
上記以外の労働者	人

(注) 労働安全衛生法施行規則第52条様式6号にある「所見のあった者の人数」